

里庄町立里庄西小学校 いじめ問題対策基本方針

いじめに関する現状と課題

・いじめは、特定の人間関係の中でのトラブルや、不適切なコミュニケーションにより相手の気持ちを傷つけることがきっかけとなる場合が多い。教職員は情報を共有しチームを組んで対処する習慣が定着しているが、未然防止・早期発見の段階でより敏感に組織的に対応し、教職員と児童、保護者、地域がいっしょになっていじめの起きない学校風土づくりを進めることがより一層必要である。

・いじめは、大人の気づきにくい場所で行われたり遊びやふざけ合いを装って行われたりするなど、いじめかどうか判断しにくいという課題がある。ささいな兆候や情報であっても教職員間で情報を共有し、いじめを積極的に認知し、解決を図り、児童の健全な成長につなげていく体制づくりが一層必要である。

いじめ問題への対策の基本的な考え方

・いじめは、どの子にも起こりうる身近な問題で、いじめられた児童の生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれのある行為であるという認識に立ち、互いに認め合い、支え合い、高め合う関係を築くことができるよう、いじめの起きない風土づくりに努める。

・防止対策は、全ての児童がいじめを行わず、またいじめを認識しながらこれを放置することがないようにするため、いじめによる心身への影響や児童のいじめに対する理解を深めることをめざす。

・いじめ問題は、学校、保護者、地域が信頼関係を構築し、それぞれの役割と責任を自覚し、連携して取り組むことで解決できる問題であると考える。

＜重点となる取組＞

・いじめの未然防止 …教職員の共通理解と実践力の向上、児童のコミュニケーション能力の育成、校内人権週間、保護者への啓発、情報モラルの学習

・早期発見 …終礼の情報交換、こまったことアンケート、hyper-QU、教育相談、カウンセリング、SNS等への対処

・いじめへの対処…速やかな情報収集、対策委員会を核としたチームでの対処、いじめられた側への支援といじめた側への指導、保護者への連絡と連携、事後の継続的指導、再発防止

